

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 26 年 12 月 1 日

設置・運営主体	株式会社 日本保育サービス		
設置主体	株式会社 日本保育サービス		
経営主体	株式会社 日本保育サービス		
事業所名 (施設名)	アスクわかば保育園	種別	保育所
所在地	〒 350-0214 埼玉県坂戸市千代田3-21-23 ヴィラ・ボンセジュール若葉1F		
電 話	049-280-5777		
FAX	049-280-5778		
Email	GSP31691@nifty.com		
URL	http://www.nihonhoiku.co.jp/		
施設長氏名	藤松 智子		
調査対応担当者	藤松 智子/平松 梓 (所属、職名：施設長/本部企画担当)		
利用定員	定員 60 名	児童数 61 名	開設年 平成 22 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【運営理念】</p> <p>①セーフティ(安全)&セキュリティ(安心)を第一に ②お子様が一日楽しく過ごし、思い出に残る保育を ③利用者(お子様・保護者とともに)のニーズにあった保育サービスの提供 ④職員が楽しく働けること</p> <p>【保育理念】</p> <p>①子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力を育てる ②子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす五感で感じる保育の充実</p> <p>【園目標】</p> <p>・じょうぶな身体、元気な子ども ・思いやりのある子ども ・自分で考えて行動できる子ども</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	平 日 午前7時 ~ 午後7時 土曜日 午前7時 ~ 午後7時		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	8	1		3
1歳児	10	11	1		3
2歳児	11	12	1		2
3歳児	11	11	1		1
4歳児	11	9	1		1
5歳児	11	10	1		1
計	60	61	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○乳児院の場合

（1）施設定員数	人
（2）施設措置人数	人
	一時保護者数 人

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

社会福祉士	名 (名)
介護福祉士	名 (名)
保育士	名 (名)
	名 (名)
	名 (名)

(非常勤職員の有資格者数は () に記入)

○保育所の場合

常勤職員数	13 人				
うち	保育士	11 人	保健師・看護師	0 人	
	栄養士・調理員	2 人	その他 ()	0 人	
非常勤職員数	5 人	(常勤換算	2.5 人)		
うち	保育士	4 人	(常勤換算	2 人)	
	保健師・看護師	0 人	(常勤換算	0 人)	
	栄養士・調理員	1 人	(常勤換算	0.5 人)	
	その他 ()	0 人	(常勤換算	0 人)	
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。					
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	1 人	非常勤：	3 人
	退職	常勤：	1 人	非常勤：	1 人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢	26.7 歳 (24.8 歳)				
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数	2.1 年 (2.8 年)				
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。					

○ファミリーホームの場合

主たる養育者数	人
その他養育者数	人
補助者数	人
(3) 主たる養育者の年齢	歳 (歳)
(4) 主たる養育者の在職年数	年 (年)
(注) 現在の施設での在職年数。ただし、同一法人内の児童福祉施設間の異動は通算可。 小数点以下第二位を四捨五入。	

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員5名)

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	¥3500円/月 ¥500円/回
休日保育		
障害児保育	○ (今年度該当なし)	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業 (病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他 (事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 26 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

16 人

・ボランティアの業務

保育業務補助 子どもと関わり遊ぶ・おむつ交換・排泄補助・食事介助・制作準備
--

【実習生の受け入れ】

・平成 26 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士	0 人
介護福祉士	0 人
その他	3 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積		m^2			
		m^2 （延べ床面積÷定員）			
(2) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ		
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ		
(3) 建築（含大改築）年 平成 年					

○保育所の場合

(1) 建物面積 （保育所分）		295.97 m^2			
		4.9 m^2 （計算式：建物延べ床面積合計÷定員）			
(2) 園庭面積		2,522 m^2 （代替公園：中道公園）			
		42 m^2 （計算式：園庭面積合計÷定員）			
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ		
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ		
(4) 建築（含大改築）年 平成 22 年					

○自立援助ホームの場合

(1) 建物面積		m ²
	入所者1人あたり	m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 敷地面積		m ²
	入所者1人あたり	m ² (計算式: 敷地面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築 (含大改築) 年 平成 年		

○ファミリーホームの場合

(1) 建物面積		m ²
	児童1人あたり	m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 敷地面積		m ²
	児童1人あたり	m ² (計算式: 敷地面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築 (含大改築) 年 平成 年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設 (事業所) において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・前期後期に分けて運営委員会を実施し、利用者の意見を直接聞く場を設けている。(4月・9月・3月実施) ・行事後は必ずアンケートを取り、意見を反映するよう努めている。また、アンケート結果は掲示やおたよりで配布している。 ・クラス懇談会を開催し、担任と保護者がより近い距離で話をする場を設けている。また、保護者同士の交流の場にもなっている。 ・保育園以外に意見や苦情の受付窓口を本部に設置し、利用者に周知している。
--

【その他特記事項】

- ・園庭スペースを利用して畑やプランターで食物の栽培を行い、食育活動に力を入れている。
- ・園外保育や他園児童との交流を積極的に取り入れている。
- ・朝夕の時間帯や土曜日の利用が多いため、異年齢保育を取り入れ、憧れ・好奇心・思いやりの気持ちを育む保育を展開している。
- ・地域交流計画に基づき、付近の女子栄養大学との交流、地域の歯科衛生士や栄養士を招いた活動、近隣の商業施設での行事の開催（夏祭り・ハロウィン）など、積極的に地域交流に取り組んでいる。
- ・保護者が協力的であり、行事や運営委員会への参加率も高い。
- ・お迎えの時間に親子で制作活動ができる企画をし、保護者支援につながる取り組みを行っている。
- ・昨年度から保育参加を取り入れ、行事や通常保育に保護者が蜜に関わり、保育への理解を深めていただく機会を作っている。
- ・職員の協力関係が良好で、保育内容の改善や課題解決に対し、全員で意見を出し合い、協力して取り組む姿勢が見られる。
- ・職員の要望を管理者（園長・主任）に伝えられやすい環境が作られている。
- ・施設の安全性向上のために、専門家に巡回していただき、危険箇所のチェック・改善を行った。